

# 藍住町 議会だより

第27号

平成13年11月25日

発行 藍住町議会

編集 議会だより編集委員会

徳島県板野郡藍住町奥野字矢上前52-1

電話 (088) 637-3127

FAX (088) 637-3156



藍ラブフェスティバル

定例会 p2

一般質問 p4

総体質問 p9

意見書 p10

文教常任委員会 p11

議会のうごき p12

# 9月 定例会

9月定例会が9月10日から21日までの12日間の会期で開会された。  
平成12年度特別会計歳入歳出決算など17議案と議員提案の意見書3件について審議し、  
原案のとおり可決した。

## 町長提案

- 平成12年度藍住町特別会計歳入歳出決算の認定について ……原案可決
- 平成13年度藍住町一般会計補正予算について ……原案可決
- 平成13年度藍住町特別会計（介護保険事業、藍寿苑、水道事業、下水道事業）  
補正予算について ……原案可決
- 藍住町放課後児童健全育成事業に関する条例の制定について ……原案可決
- 藍住町税条例の一部改正について ……原案可決
- 町道路線の変更について ……原案可決
- 固定資産評価審査委員会委員の選任について ……山田俊昭
- 藍住町教育委員の任命について ……奥村康人
- 藍住町西クリーンステーション塵芥車の購入請負契約の締結について ……原案可決

## 議員提案

- 道路整備予算の確保に関する意見書について ……原案可決
- WTO農業交渉で新しい貿易ルールを求める意見書について ……原案可決
- 乳幼児医療費無料化を国としておこなうことを求める意見書について ……原案可決

## 町からの 主な報告

### ◆徳島外環状線

藍住インターチェンジ前から国府町に至る6.1kmについて、8月1日に事業説明会が開かれた。徳島県からはルートなどの都市計画案が示され、平成14年度内の事業化を目指しており、本町としても広域的な「地域集積圏」の形成が図られるものと期待している。

### ◆正法寺川の浄化対策

浄化設備については、新富吉橋北側で施工中であり、本体と堰の工事は9月末に、建て家については平成14年3月末完成予定である。

# 一般会計 補正予算

## 3億5,900万円増額

# 総額 89億5,900万円



奥野児童館

### 主 な 補 正

#### 民生費

奥野児童館における  
学童保育の増加により、  
奥野児童館増設費用約  
1,500万円。

#### 土木費

町道の舗装修繕費と  
して4,000万円、道  
路の拡幅・改良工事で  
約14,000万円。

#### 衛生費

東部臨海処分場負担  
金4,288万円。

乳幼児の医療費にか  
かる扶助費として約1,  
000万円。

#### 教育費

歴史街道改良工事費  
3,600万円。

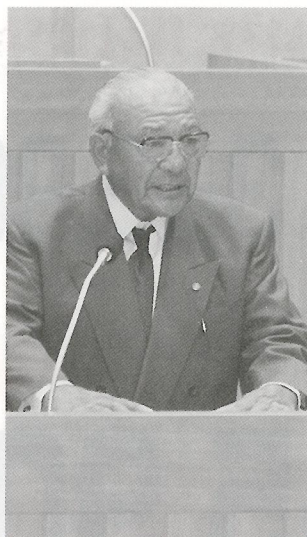
### 平成12年度特別会計決算額

単位：万円（1万円未満四捨五入）

事業	歳入	歳出
国民健康保険事業	18億0,040	16億8,720
老人保健事業	19億3,322	19億0,822
介護保険事業	9億3,484	9億0,878
藍寿苑	3億6,009	3億1,851
住宅新築資金等貸付事業	1,631	1,631
水道事業（収益的収支）	4億5,411	3億3,921
水道事業（資本的収支）	7,519	2億3,367

# 町政マスコが聞きたい

## 議員5人が一般質問



議員 犬伏芳夫

### 堀江町政3期 12年の総括は

堀江町長には、先の6月議会、自ら町長としての出処進退を明らかにされた

ところである。

今議会の冒頭でも、任期中の思い出を踏まえ、町民や議会、そして職員に対し「感謝の気持ちで一杯である」と述べられた。短い言葉の中にも、心のこもった堀江町長らしさと潔さに頭

が下がる思いである。

そこで改めて、町長自身に12年間の総括をしていただきたい。

町長は就任以来、常に町民福祉を優先させ、公約であった「公正・公平にして平和な町づくり」に取り組んでこられ、福祉や教育面で大きな実績を残された。

私としては、ほぼ公約は実現したと評価しているが、町長自身はどのようなように考えているのか。また、後任町長へ申し送りたいことなどもお聞きしたい。

### 福祉と教育の充実

公約については完了したのもあれば、現在進行中のももある。

1期目は、前町長から引き継いだ高速道路の問題で日夜苦勞をし、又、議会の全面協力をいただき河北町と友好都市の締結をしたこと、さらに、国民体育大会・ウエイトリフティング競技を成功させることが出来た。

2期目は、教育と福祉

の充実を公約の柱として合同庁舎建設や正法寺川公園の整備工事を行った。

3期目は、情報公開条例の制定を行い、市町村合併については、板野郡7町で合併検討会を組織し、研究に乗り出しているところである。

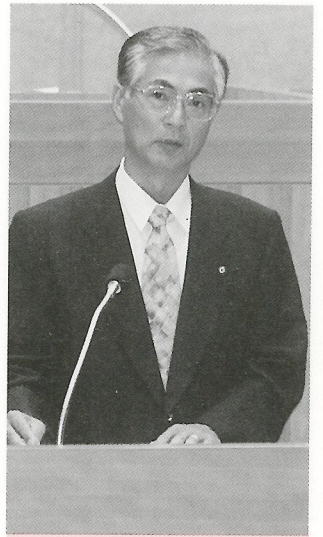
福祉と教育については、児童館や老人憩いの家の充実を図り、これらを拠点とした地域活動も活発になり、他町村の模範となっている。ボランティア活動も積極的に行われていることに感謝して

いる。

環境行政については、町内にゴミ戦争が起こり、町民の方や職員の力強い協力の下、早期解決に至って以来、関係施設の老朽化やダイオキシン対策など、まずは順調に推移しているものと認識している。

下水道事業については、どうにか目処がついたものと思っている。今後の方針については他の主要事業と同様に、後任の方に引き継いでまいりたい。

## 介護保険



森たけし 議員

10月から第一号被保険者の満額徴収（前年年額の3倍）が行われる。保険料や利用料の負担は想像以上に大きく、お金の負担が増え介護に関わる肉体的精神的負担が軽減されていない。介護保険の欠陥は「過酷な保険料負担と罰則」「重い利用料負担」「不合理な要介護認定」「サービスに上限がある」「必要な介護サービスを保証する条件整備の不足」その結果、現行の福祉水準の後退になっている。普通徴収の未納者は何人で何%か、その理由は。低所得者の保険料は第一段階と第二段階を減額・免除すべき。認定者でサービスを利用していない人の人数

と理由、介護度別の利用度は。低所得者の利用料の減免を。保険料滞納者へのペナルティは介護保険からの締め出しとなるので止めよ。

## 支え合う制度

平成12年度の普通徴収未納者は58人、普通徴収者に対する未納者率は81%である。理由は納め忘れ、納付困難等と思われる。介護保険はみんなで支え合う制度として発足しており、減免については一般財源では出来ない。介護サービスを利用していない69名の方は、比較的介護度が軽い人が多く、また家族の中で支援が出来ているものと思われる。

## 安全な学校を

大阪の児童殺傷事件後、各地で教室に緊急通報装置を設置するなど対策に取り組んでいるが、本町では対策は十分に出来ているのか。

## 緊急事態に対応

学校では常々、緊急事態に対応しての対応プログラムを組んでいる。授業中に犯罪者の進入を発見した教職員は、近くの火災報知器を押して全校に知らせるようにしている。

## 少人数学級の実現を

山形県知事は県内全ての小中学校に30人学級の実現をする事を明らかにした。教職員は不登校や校内暴力が後を絶たず深刻化しているとき、これが実現すれば子供達に寄り添った教育が出来るかと喜んでいる。

藍住町は県へ要請をしているのか。

## 要望していく

小学校で30人以下を含めて35人以下のクラスが92・4%、中学校では56%である。教員の数も定員より多く配置されているが、新しい学級指導要綱に向けて、これから県に対して要望を進めていきたい。

## ゴミ行政

家電リサイクル法は低所

得者や障害者、老人世帯に何ら配慮されず施行されたが、問題がないと考えているのか、対策は考えていないのか。

## リサイクルにご協力を

家電については先払い方式を働きかけており、購入店を通じてリサイクルをお願したい。家具等のリサイクルは今後検討したい。

## 西クリンステーション 排ガス高度処理及び灰固形化施設整備工事



30人学級

## 11月から実施

補助金申請の手続き上4月に議決したが、工事はゴミ量の一番少なくなる時期に実施するため準備を進めており、ダイオキシン類濃度についても法規制、ガイドライン等についてクリアできる保障条件で契約している。バグフィルターは3〜4年で交換が必要になり、数千円かかる費用がかかると思われる。サノ・テクノの資本金は3,500万円、従業員は30名であり、一括下請けはない。

早急に行う工事だとして、4月に臨時議会で議決をさせているが工事は未着工である。工事が遅れている理由は何か。契約業者のサノ・テクノは同時期に県内数自治体と契約しているが、一括下請けの噂があるがどうか。サノ・テクノの資本金と従業員数、バグフィルターとの交換サイクルと費用についてお聞きしたい。また、ダイオキシン対策は確実に出来るのか。



喜田敏夫議員

### 徳島西環状線 道路計画

「農業では喰っていけない」「企業の倒産リストラで生活ができない」「売上の低下で商売にならない」などなど私たちをとりまく情勢は一段と深刻になっていく。にもかかわらず私たちの周りにはたくさんの方々の公共事業がある。それらについて質問をしたい。



徳島西環状線合流付近

現在、共用を開始している北環状線は信号だらけの一般道路である。それに近づくと西環状線は幅が40m近くもある高規格道路であり、その一方では、板野インターと藍住インターを結ぶ道路は一般道路となる。これは地域住民の利便性を考えたものとは思われない。地域住民への説明は十分か。また事業費はいくらか。

### 工事費 約500億円

徳島西環状線6.1kmの概算工事費は約500億円程度。説明会の際に住民の方からいただいた様々な意見については、町として検討を加え、県当局と十分協議を行い解決していきたい。

### 旧吉野川流域 下水道計画

当初事業費が600億円、そのうち藍住町関係だけでも260億円、全工事の完成は平成30年度という大事業である。しかし、これまで行政は生活排水を浄化するために補助金を出して合併浄化槽の設置を推進してきた。これとの整合性はどうか。さらに下水道の端末工事の自己負担を町民は心配している。受益者への説明責任は十分出来ていると思っているのか。

### 吉野川下流域 農地防災事業

農水省は8月28日、2001年度の事業再評価委員会で全国11箇所の事業を見直すことを発表した。その一つにこの事業も含まれている。当初の事業費が550億円であったものが、進捗率31%で854億円に膨れ上がり、完成予定も大幅に遅れているようである。藍住町もこの事業を推進してきた立場にあるが、この事態をどのように考えているのか。

### ご協力をお願い したい

合併浄化槽と下水道の整合性については下水道法により、全家庭からの接続が義務づけられており、今後は住民の方に十分説明をし、ご理解いただきたい。宅地内工事についても条件の違いから金額にかなりの幅があり、ご協力をお願いしたい。

### 支援していく

今年度の再評価として、本地区の実施方針については事業計画の変更を早急に行い、コスト削減に努めつつ事業を着実に推進、早期完了を目指すこととなっている。事業目的に変更はないが、事業費の見直しを行うこととしている。



西岡恵子議員

### 土曜日の運動場開放を

平成14年度より、学校現場において学校5日制となるが、土曜日の運動場の使用について、地域の子供達への開放は可能か。

### 児童館が活動の場

子供達は活動の場として児童館をよく利用しているようである。今後、学校施設活用の希望が多くなれば、それに対応できるように考えていきたい。

### 健康対策

国・県は健康対策として、健康日本21、健康とく

### 学校給食について

大豆やとうもろこしの加工品より遺伝子組換え品種が見つかつたと報道があつた。給食食材の食品の安全性にはさらに気を付けてもらいたい。

安全性の点から、目に見える所での生産・地場の農産物の使用についてその後検討されたと思う。例えばお米、人参の使用についてどうか。

### 安全を第一に考えている

食材の安全性は常に第一に考えている。生野菜の取り扱いには特に注意を払い、遺伝子組み替えの輸入食材は使用していない。

藍住町特産の人参は出荷時期に合わせて多く使用し、季節の特色を地場産業に求めるよう努力している。今後も、地場産業の農産物の使用については十分検討していきたい。

### 老人憩の家で一時預かり

在宅の介護支援として老人憩の家で急な場合の一時預かり制度が出来ないものか検討をお願いしたい。2025年には4人に1人が高齢者となる社会に於いて、今から地域社会で支え合うシステム作りが必要と思われるが如何か。

### 高齢者の生きがいの場

老人憩の家は地域に管理委託しており、突発的な事情により町が義務的に一時預かりをするのは容易ではない。一部の憩の家では、農繁期等に自宅で一人になる高齢者に行事への参加を呼びかけ、お世話をしているところもある。今後もこのような利用が増えていけば、高齢者の生きがいにつながる施設になるのではと考える。

### 下水道事業

下水道事業について、町全域を対象に説明会が開催されたが、住民の反応をどう考えるのか。住民との合意形成の点から更に説明会が必要と思うが如何か。

### 工事施工時に説明会

事業を推進する上で住民の方からいただいた貴重なご意見は事業実施に向けての参考としていきたい。今後の説明会は工事施工に際し、その都度開催していきたい。

### 正法寺川 水環境改善計画

正法寺川が「第二期水環境改善計画・清流ルネッサンスⅡ」の対象河川となった。この取り組みに対し、藍住町、地域住民、関係団体の関わりについてはどのように考えているのか。

### 地域協議会を設置

地元自治体、住民などとともに地域協議会を組織し、地域住民を含めた流域の関係者が一体となって、水環境改善のための取り組みを進めていく。



正法寺川を考える会清掃作業



西谷 修議員

### 市町村合併の 取り組みは

総務省によると、6月末現在、全国で243の組織（設置予定も含む）が市町村合併に関する調査・研究を行い、全市町村（3, 224団体）の約4割に当たる1, 247団体が参加しているといわれている。

4月末の時点に比べ、組織の設置数、参加団体ともほぼ50%の増加で、市町村合併の動きは着実に広がっているといえる。ただ、正式な協議の場である法廷協議会は26地域（93市町村）に過ぎないが、合併に際し政府は現在、財政上の優遇を中心とする特例措置による合併促進策をとっており、又この措置は合併特例

法の期限が平成17年3月迄であり、一方、総務省が8月に作成した市町村合併マニュアル（手引き）では、法廷協議の設置から合併実現までの目安を「1年10ヶ月」としている。

市町村合併は、この1、2年のうちに正念場を迎えようとしているのであり、今後さらに意識を高めていく必要がある。国と地方の行財政改革と地方分権を推進するためには、市町村合併が喫緊の課題であるとして、現在の市町村数を千程度にすることを掲げている。市町村合併は財政改革を推進すると共に、事務の集中や議員の定数減により、地方行政を簡素化できるからであり、また合併は地方分権を推進する。地方の時代は、住民にとって最

も身近な行政サービスを行う基礎的自治体である市町村が内政の中心を担う時代であり、合併がその行政能力を向上させることにつながるからである。

さて、藍住町においては65%の方が住民意識調査で合併検討を進めるのが望ましいという回答であり、板野郡合併検討委員会の其の後の取り組みと、本町の姿勢、考え方についてお聞きしたい。

### 研究していく

板野郡合併検討協議会において行財政に関する現況調査を実施し、具体的な検討を進めていくほか、パンフレット等を作成し、住民への情報提供を行うべく予定である。本町においても早急に研究を行う必要があると、研究会を立ち上げた」と考えている。

### 出産費の 負担軽減について

国民健康保険加入者が出産したときに出産育児一時金として30万円が支給されている。しかし、出産した後、一時金を申請してから本人に支給されるまでに2〜3週間かかり、出産費用を一時的に自費で支払わなければならない。このため「高額の出産費用を用意す



パパママフェスタ

るのは大変であり、いずれ支給されるなら費用を支払うときに相殺等できないか」という要望がある。

「委任払い申請書」を医療機関に提出し、母子手帳と共に役所へ提出すれば退院時の費用支払いのときに一時金と相殺可能になる市町村もあるといわれている。藍住町でも相殺が可能になるのか伺いたい。

### 貸付制度導入

委任払いについては法的な問題や、県内外の医療機関との連携等様々な問題があると思われる。現在でも出生一時金が早急に必要な方については、便宜を図り支払っている。国や県の方針である貸付制度の条例化に向けて今後検討していきたい。



# 総体質問



歴史街道との取合部分

農地防災事業費工事請負費として750万円計上されているが内訳は。

農地防災事業における末端部分の水路の蓋や道路幅員の確保工事を行う。

一般町道新設改良費で住吉中央団地道路改良工事に伴う設計委託料1,270万円は工事費に対して何%か。

委託料の率は、工事費の約15%位である。

水辺の環境対策費の工事請負費240万円の内訳は。

東中富親水公園ポンプのメカニカルシール2基と関連する部分に関する取り替え工事の合計額。

個性ある地域づくり事業費補助金70万円の使途は。

正法寺川を考えるとメルファンの会へ各35万円交付される。正法寺川を考える会では、正法寺川の清掃作業の諸経費や、講演会の開催費用等に充てられる。

メルファンの会はPTAをはじめ子供達のために活動をしている人達が、音楽を通じて演劇等の活動を進めていくための費用である。

勝瑞城館跡整備事業費3,600万円の内訳は。

2,600万円は県道の右折レーン新設工事。1,000万円は歴史街道の取り合い部分工事。

### 乳幼児医療費無料化を国としておこなうことを 求める意見書

子どもたちのすこやかな成長は社会全体の願いであり定です。しかし、一人の女性が生涯に生む子どもの数は年々低下し、過去最低となっており「少子化」対策と子育て支援策は急務となっています。特に長引く不況、就職難のもとで若い世代の家計もますます厳しさを増す中、若い父母が次世代を担う子ども達を安心して生み育てられるよう、乳幼児医療費無料化の願いは切実である。

すでに昨今では、乳幼児医療無料化について全国自治体が何らかの助成をおこなっており、また、参議院の「国民生活・経済調査会中間報告」でも急速な少子化に歯止めをかけるための提言を全会一致で決め、その冒頭に「国による乳幼児医療の負担の軽減」をかかげています。日本医師会も15歳以下の医療費無料化を少子化対策の柱とし政府への要望事項としてかかげている。

少子化は国の将来にかかわる重大問題であり、また、すべての子どもの命は平等です、自治体としても努力をつくしているところではありますが、国として乳幼児医療費無料の制度ができれば、自治体ごとの格差を縮め、自治体がおこなっている取り組みの励ましと底上げになるものである。

「いつでもどこでも乳幼児が安心して医療が受けられるように」の切実な声を受け止めていただき、乳幼児医療費無料化を国としておこなうよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成13年9月21日

徳島県藍住町議会

# 9月議会で 可決された 意見書

### WTO農業交渉で新しい貿易ルールを求める意見書

近年、国際的な人口の爆発的増加や食糧生産の制約要因の拡大という、需給の逼迫見通しと地球環境の悪化が叫ばれている。また、国内的には農業従事者の高齢化と後継者不足、農村の過疎化が進んでおり、国民が安心できる安全な食糧の安定供給と、食糧自給率の向上、国土・環境保全など農林水産業のもつ多面的機能の発揮、持続可能な農業・農村社会の建設に向けた施策の推進とのための国内及び国際合意が必要である。

本年11月には、カタールにおいてWTO（世界貿易機構）の閣僚会議が開催される。ガット・ウルグアイラウンドでの農業合意に見られるように、世界的な貿易ルールが国内の農林水産業・農政の展開を規定し、ひいては地域のありようにも大きく影響を及ぼすことが想定される。

藍住町においては農業経営の安定と環境保全等を考えるとき、WTO農業交渉での新しい貿易ルールづくりが急務である。

よって、国においてはWTO閣僚会議に向けて、地域の実情を踏まえ、食糧・農業・農村の役割を重視した下記事項について格段の配慮をされるよう強く要望する。

1. 国土・自然環境の保全など、農林水産業のもつ多面的機能を重視した国際的なルールを確立すること。
2. 地球規模での受給逼迫に対処するため、各国の生産資源を最大限活用した食糧安全保障システムを確立すること。
3. 食糧の安全性を確保するため、厳格な安全基準の策定と透明な表示ルールを確立すること。
4. 国内助成のありようは、自由な担い手の育成や地域産業の振興を妨げることのないよう、幅広い国内政策を可能とすること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成13年9月21日

徳島県藍住町議会

### 道路整備予算の確保に関する意見書

道路は、地域間の交流を促進し、均衡ある国土形成を図り、社会・経済の活力の維持に不可欠であるとともに、安全で快適な生活を送る上においても欠くことのできない根幹的施設である。

しかしながら、藍住町においては、社会・経済活動の基盤となる道路整備の状況は十分ではなく、交通渋滞の解消、交通安全の確保、耐震対策等数多くの課題を抱えている。

さらに、徳島県においては明石海峡大橋や四国縦貫・横断自動車道の開通により、本格的な高速交通時代を迎えようとしています。この効果を隅々まで波及させ、地域の活性化を促進するためには、高速道路をはじめ、これを補完する一般国道、県道、町道、街路などの体系的な整備が緊急の課題である。

このため、道路予算の確保は藍住町にとって、まさの死活問題であり、極めて重要な事案である。

よって、国においては、道路整備の重要性を深く認識され、次の事項について格段の配慮をされるよう強く要望する。

1. 道路を緊急かつ計画的に進めるために、道路特定財源制度を堅持し、一般財源化など他に転用することなく、全て国民の期待する道路整備を強行に推進すること。
2. 平成14年度予算においては、新道路整備五カ年計画の完全達成のため、一般税源を大幅に投入し、所要の道路整備費を確保すること。
3. 活力ある地域づくり・町づくりを推進すると共に、地方分権や市町村合併の支援、地域医療・福祉の向上を図るため、市町村道から高規格幹線道路に至る道路網の整備を一層促進すること。
4. 渋滞対策、交通安全対策、沿道環境対策等安全で快適な生活環境づくりを推進するため、道路整備を一層促進すること。
5. 地方の道路整備財源を確保するとともに地域財源対策を充実すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成13年9月21日

徳島県藍住町議会

## 功労者表彰

11月3日、藍住町各種功

労者表彰が行われ、町議会

議員として通算12年に達し

た者として、山田民恵議員

に町長より表彰状が贈られ

ました。



山田民恵

# 文教常任委員会

## 報告

6月28日、文教常任委員会を開催した。  
町内小中学校の防犯体制の点検について、行政対策監、板野警察署防犯課長、笠木交番駐在員に出席していただき、現場視察の後、審議を行った。  
警察では、パトカーで朝夕の通学時間帯に巡回監視活動を強化している。行政対策監は学校訪問を重点に行い、喫煙問題等の話し合いに参加し対処しているとの報告があった。



防犯点検

委員会としても、点検結果をもとに、地域の人たちとともに学校を守っていく体制が必要と思われる。

### 主な質疑

町内の学校は地域に開かれた学校として出入りが自由であり、危機管理面については限界がある。出入りする人を全てチェックするのも不可能だと思われるが、

どのようなか。

不審者として警察へ通報があれば現場へ向かい、職務質問を行い、事前防止に努めている。

緊急通報についてはどのようなか。

各学校において緊急通報システムは必要であり、これを受けて警察等へも応援を求めるとも必要である。防犯カメラは藍住中学校において設置されているが、緊急通報施設が故障している学校については、今後予算計上し整備していきたい。

編集委員会では、町民の声の投稿を募集しています。議会や町政に関するご意見をお寄せ下さい。

### 投稿規定

- 一、住所・氏名・電話番号を明記
- 二、掲載時に匿名を希望する方は申し出て下さい。
- 三、字数は五〇〇字以内
- 四、投稿者の多い場合には、掲載月を調整する場合があります。

# 議会のページ

## 8月

- 1日 松茂町町制施行40周年記念式典
- 4日 第25回あいずみ納涼祭
- 7日 板野郡議長会定例会
- 8日 奈良県五條市議会視察来庁  
(虹の里)
- 22日 議会だより編集委員会
- 24日 鳴門市・藍住町環境施設組合議会
- 29日 第13回県町村議会議員研修会

- 18日 9月議会一般質問
- 21日 9月議会閉会
- 22日 敬老のつどい
- 26日 徳島環状道路建設促進期成同盟会第9回総会

## 10月

- 3日 なくせじん肺全国キャラバン
- 5日 議会全員協議会
- 7日 北小学校・東小学校運動会
- 10日～11日 鳴門市・藍住町環境施設組合議会視察研修

- 21日 第15回藍住町身体障害者ふれあい大会
- 22日 板野西部補導センター議会
- 26日 藍翠苑まつり
- 29日 同和行政推進協議会
- 30日 奈良県斑鳩町議会視察来庁(議会運営・ケーブルテレビ)

## 9月

- 3日 議会運営委員会
- 6日～7日 鳴門市・藍住町環境施設組合議会視察研修
- 9日 藍住中学校・藍住東中学校体育祭
- 10日 9月議会開会  
議会全員協議会

- 15日 鳴門市・藍住町環境施設組合議会議員協議会
- 16日 岡山県奈義町議会視察来庁  
(議会運営)
- 16日～17日 板野東部消防組合議会視察研修  
(石川県)



どんぐりの森をつくろう

### 本会議を傍聴しませんか

本会議はどなたでも傍聴することができます。傍聴は、本会議当日、先着順に受けつけていますので、議会事務局の受付までお気軽にお越し下さい。

なお、傍聴席の定員には限りがありますので、ご了承下さい。

### ◆◆ 定例会案内 ◆◆

次の定例会は12月です。

次号は2月に発行します。

● お問い合わせ ●

議会事務局 ☎ 637-3127

### 編集後記

今年の夏は「地球の終わり」を思わせる猛暑でした。今は、もうすでに立冬。北の国から白い便りも聞かれ「自然の偉大さ」を感じます。アフガンでは「平和」という名の殺し合いをしています。歴史がはじまって以来、同じ愚かさを繰り返す人間どものことを自然も笑っている事でしょう。

編修子も読者に愛される誌面づくりに努力をしています。があまり、変わり映えがしないようです。

更なる努力をいたします。

### 議会だより 編集委員会

- 委員長 古川義夫
- 副委員長 森 志郎
- 委員 喜田敏夫
- 委員 森 彪
- 委員 木内敏文